



700年の時へて 秩父流鎭馬

秩父夜祭の大祭から一夜明けた4日、鎌倉時代から700年以上途絶えていた「秩父流鎭馬(やぶさめ)」が復活した。

秩父神社の創建2100年を記念した行事で、同神社に残る記録によると、1235(嘉禎元)年に社殿を消失し、79年後の1314(正和3)年に再建された際に流鎭馬が再興されなかったことが記されているという。

倭式(わしき)騎馬会(森頭会長、東京)の5人の射手が古式ゆかしい衣装をまとい、秩父市役所前の御旅所(おたびしょ)に設けられた約85坪の馬場を駆け抜けながら、約50坪四方の的2カ所をめがけて矢を放った。

射手が見事的に射抜くと、無料開放された観客席を埋め尽くした約2千人の観客から歓声が上がった。(高山頭治)